

後輩に引き継がれ 推進力アップの木製ヘリコプター

都立小金井工業高校〔定時制課程〕

訪問日 令和3年9月9日

昨年度の課題研究作品「レオナルド・ダ・ヴィンチ」、これが校内最大級の木製作品。現在は校内で展示しているが、何分にも大きい。どこか引き取り手を探しているとの情報があり、「ひょっとしたら、会員に紹介するには最後のチャンスになるかも」との思いで、訪問取材をしました。

既に埃をかぶっているものと思っていたのですが、なんと在校生たちの手で改装中でした。

回転翼(羽根)の部分が大きく改造され、機構の部分と分離できるよう改造してありました。また、全体の高さも少し低く抑えられています。

これは、トラックに載せられるように大きさを調整したとのことで、運び出しの準備は着々と進んでいるようでした。下は移動を手伝ってくれている1年生の4人と回転翼です。



実はこの4人、先輩たちの作品を改良している担当者たちです。



佐藤先生の指導の下、羽根の部分改造しています。回転翼は竹を芯にして型取りのためラップを張ってあります。

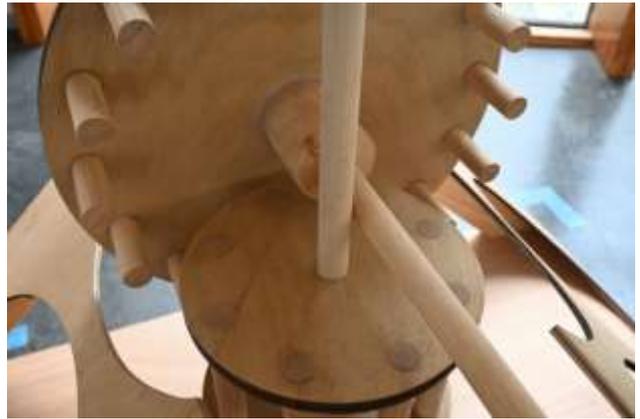
芯材同士は紐で固く結ばれ、ラップは接着剤やテープ止めなどではなく表面張力でくっついている状態です。

これから、ラップの上から麻布を張る作業があり、それで完成になるとのことでした。





自然素材の竹を曲げて作った螺旋曲線



歯車の原理(横軸の回転を縦軸の回転に変換)



切り出し素材の活用



木製の軸と軸受け



きつなくてもゆるくても滑らかには回りません



1年生の成果